



2026年2月17日(火)

蔵市立文化ホールくるる(JR蔵駅・徒歩3分)



ホームページ



LINE公式

埼玉映画ネットワークの映画上映会「シネマスタジオ蔵」

季節のように生きる。

雨の日は雨を聞く。雪の日は雪を見て、夏には夏の暑さを、冬は身の切られるような寒さを。五感を使って、全身で、その瞬間を味わう。

。お茶の。魅力に気づき、惹かれていった女性が体験するのは、静かなお茶室で繰り広げられる、驚くべき精神の冒険。黒木華、樹木希林、多部未華子の初共演で贈る、

一期一会の感動作がここに誕生。

にち
にち
これ
こう
どっ
日日是好日

黒木華 樹木希林 多部未華子

原田麻由 川村紗也 滝沢恵 山下美月
郡山冬果 岡本智礼 荒巻全起 南一恵
鶴田真由 鶴見辰吾

監督・脚本 大森立嗣

原作・森下典子「日日是好日」(宝島社出版)

「日日是好日」は、作家・森下典子さんの同名小説を原作とした、大森立嗣監督の映画作品。主演は黒木華、樹木希林、多部未華子。本作は、お茶室で過ごす日々を通して、人生の様々な瞬間を味わうというテーマで描かれる。



会場..蔵市立文化ホールくるる (大人1100円当日券のみ)



今を生きる歓び。誰もが味わえる本当の自由。

「人生のバイブル!」多くの読者を救ったロングセラー・エッセイを映画化!

原作は人気エッセイスト、森下典子が茶道教室に通う20年の日々を綴ったロングセラー。瑞々しく描かれる心象風景や青春像、そして「お茶」がもたらす人生訓的な「気づき」の数々は、茶道経験者の枠を越え、様々な岐路に立つ読者にとって心の拠り所となっている。主人公、典子を演じるのは黒木華。その卓越した演技力で、一人の女性の人生をたおやかに演じる。監督・脚本は大森立嗣。初タッグとなるこの二人によって描き出される時の流れは、美しく、そして儚い。武田先生を演じる樹木希林は「習い事の先生」という枠を大きく超えた人生の師匠として、大きな包容力で典子たちを導いていく。そして、典子のいとこ・美智子役の多部未華子が、お茶室に飾られる一輪の花のように映画に彩りを与え、静かな物語に躍動感を与える。日本映画界屈指の実力派キャスト・スタッフで贈る、一期一会の感動作がここに誕生した。



日日是好日
それはお茶が
教えてくれた幸せ。

真面目で、理屈っぽくて、
おっちょこちょい。

そんな典子(黒木華)は、
いとこの美智子(多部未華子)と
ともに「タダモノじゃない」と
噂の武田先生(樹木希林)の
もとで、お茶を
習う事になった。

細い路地の先にある
瓦屋根の一軒家。

武田先生は挨拶も程々に
稽古をはじめますが、
意味も理由もわからない
所作にただ戸惑うふたり。

「お茶はまず「形」から。
先に「形」を作っておいて、
後から「心」が入るものなの。」

と武田先生は言うが――。
青春の機微、就職の挫折、
そして大切な人との別れ。

人生の居場所が
見つからない典子だが、
毎週お茶に通い続けることで、
何かが変わっていった……。

これこうトッ



世の中には「すぐわかるもの」と「すぐわからないもの」の二種類がある。

すぐわからないものは、長い時間をかけて、少しずつ気づいて、わかってくる。

子供の頃はまるでわからなかったフェリーニの『道』に、今の私がとめどなく涙を流すことのように。

NPO法人埼玉映画ネットワーク 映画上映会 第360回シネマスタジオ蕨

【日 時】 2026年 2/17(火) ①10:30~12:20 ②14:30~16:20 ※上映時間100分

【会 場】 蕨市立文化ホールくるる(JR蕨駅・徒歩3分)

【料 金】 一般1100円/小中高生600円/(当日券のみ) 9時30分より全ての上映回分を販売開始

【問合せ】 048-762-9407(NPO法人埼玉映画ネットワーク)

